

柎の木からの手紙

2023年 如月 2月号



- 3日： 節分
- 4日： 立春
- 6日： 満月 :旧 1月16日
- 11日： 建国記念日
- 19日： 雨水
- 20日： 新月 :旧 2月1日

冬の藻琴山はこんなにも青かっただろうか？
大鷲は1ヶ月遅く昨年末、川辺の木に留まっていた。
雪も少なく除雪作業もそれほど行っていない。

こんな冬の出会いと邂逅

【 1月18日 第10回田の草フォーラム 】

「オーガニック給食を支える有機農業技術大集合」

参議院議員会館1階101会議室 「NPO法人 めだかの学校」

10時～18時15分

先月号で紹介した粟木政明氏に今月も出会いました。JAはくい経済部在籍の同氏が、「はくい式自然栽培の取り組み」について発表されました。

また、初めて出合った人で「吉田俊道」さん。元普及員でこの人の自然栽培方法は、春になったら私も試してみたい程です。

菌ちゃんふぁーむの菌ちゃん先生というのですが、you tubeも多数出していて、これを見ても参考になります。柴咲コウさんが生徒として、菌ちゃん先生に自然農法を教えているチャンネルもあり、野菜の床作りから収穫までわかりやすく実地指導して見ているだけで自分も出来るなと思ってしまう。

「菌ちゃんふぁーむ」「菌ちゃん先生」で検索して見て下さい。



第10回田の草フォーラム オーガニック給食を支える 有機農業技術大集合

日程：2023年1月18日(水)10:00～18:15
場所：参議院議員会館1階101会議室

- 有機稲作の理念と技術
民間稲作研究所 舘野廣幸
- 有機栽培技術の民間普及における現状と課題
自然農法センター 岩石真嗣
- はくい式自然栽培の取り組みについて
JAはくい 粟木政明
- 菌ちゃんの野菜作り
菌ちゃんふぁーむ園主 吉田俊道
- BLOF理論を活用した無農薬・多収穫・高食味の米作り
日本有機農業普及協会 小祝政明
- 大地の呼吸を取り戻せば作物は元気いっぱい育つ！
秀明自然農法ネットワーク 酒井翼治



第10回 田の草フォーラム資料集
"オーガニック給食を支える 有機農業技術大集合"

発行日：2023年1月18日
発行・編集：NPO法人メダカのがっこう
〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町5-11-2
電話：0422-70-6647
メール：npomedaka@yahoo.co.jp
編集人：中村陽子
編集スタッフ：毛利さや佳 宮野奈穂



私たちは、
命を優先する農家と手を結び
生きる環境と安全な食糧に困らない
日本を次世代に残せるような
先祖になります。

【 1月25日 大地再生農業について（不耕起栽培とカバー作物） 】

映画 「To Which We Belong（君の根は。大地再生にいどむ人びと）」
 端野町公民館 研修室1 13時～16時30分



3ヶ月程前に知ったこの映画。2ヶ月程前には、斜里町で上映されることを上映前日に知りましたが、行くことはしませんでした。

今回、自然農法で使用している有機質肥料の販売会社の関係で講習会の案内がありこの映画を観る事が出来ました。

そして、映画以上に講師として来られた方に出会えたことは、私の自然農法の作業の一部を変えて行くと思われます。

現在、東京農大の先生の進める越冬エン麦の栽培を取り入れて2年目になり雪の下には成長したエン麦があります。今回のセミナーで、緑肥にしても単品で使用するのではなく複数の緑肥を混ぜて栽培する事の効果に興味を持ちました。



土壌表面を草や有機物で被覆する事で土中の微生物相が裕になり、微生物が活発になる事で土壌中の炭素量が増えて行く。土壌中の炭素が増えると土壌も健全になって行く。地球温暖化の原因とされる大気中の炭素。この炭素の一部は現代の農法により土中から放出されたもの。土壌では、これらの大気中炭素量の半分近くを受け入れる事ができるといいます。

この炭素の循環を正常にする為の再生農業を実践する、
 Regenerative Agriculture

長沼町 「メノビレッジ長沼」のレイモンドさん。

農業を軸とした共同体

天のめぐみ 大地のちから いのちのつながり

支えあう農業「CSA」や加工品づくりで地産地消を実践する

Community Supported Agriculture

【1月26日令和4年度オホーツク有機農業セミナー】

女満別研修会館 13時30分 ～ 17時

主催：オホーツク有機農業ネットワーク

講演は、医療法人社団長谷川クリニック院長

「なぜ食物アレルギーがわずか70年で急増し重症化してきたのか」

講演の中で、ある時期から増え始めたアレルギーも近年では表面的な症状から体内へと侵攻してきているといえます。

今回のセミナーに学校関係者、給食センター関係者の方が多く参加されていた事は、今後の農業の在り方、消費の在り方が変わって行く大きな力になって行くと思われます。

まずは、農家は実践して行く事。消費者は声を上げる事。

令和4年度 オホーツク有機農業セミナー

- ◆日時：令和5年(2023年)1月26日(木) 13時30分～17時 (会場受付13時00分～)
- ◆会場：女満別研修会館 及び Zoom (ZoomによるWeb配信 (大沼町民会館3F311室の1))
- ◆事業種別：講演会、別荘会館、農業、農業関係、行政機関、学校教育関係者、などにも有機農業に貢献出来る
- ◆主催：オホーツク有機農業ネットワーク、大沼町環境共生推進協議会、北海道オホーツク総合振興局

プログラム

- 開会 13時30分～13時45分
オホーツク有機農業ネットワーク 代表 長谷川 高 氏
- 講演 13時45分～15時15分
長谷川 高 氏 (医療法人社団 長谷川クリニック 院長) 講演「なぜ食物アレルギーがわずか70年で急増し重症化してきたのか」
- 休憩 15時15分～15時25分
- 有機農業の啓蒙の意義と学校関係への導入事例について 15時25分～15時45分
オホーツク総合振興局農林部農産課 長谷川 高 氏
- 懇話会 15時45分～17時00分
女満別 有機農業大学名誉教授 西野 裕昭 氏
- ◆お茶会 17時00分
主催者等 オホーツク有機農業ネットワーク 代表 長谷川 高 氏

【申込方法】別紙「参加申込書」に必要事項を記入の上、申込先にFAXもしくはE-mailにてオホーツク総合振興局農産課までお申込みください。(申込：令和5年1月17日(金) 〇時)

※本セミナーの開催は関係者の協賛により、開催が変更される場合があります。開催が変更された場合は、関係者の皆様へお詫言わせてお伝えいたします。